

令和7年度 医療事故調査・支援センター主催研修について（中間報告）

1. 研修名 「医療事故の再発防止に向けた提言」を活用した医療安全活動
～医療機関からの実践報告～
2. 目的 医療機関における提言活用状況を共有することにより、再発防止への取り組みや課題について考える機会とする。
3. 対象者 医療機関管理者及び医療安全担当者、及びそれに準ずる方
4. 日程・受講者数
 - 参集
 - 令和7年10月4日（土）13:00～16:00
 - 会場：ステーションコンファレンス東京
 - 参加者数：66名
 - オンデマンド配信
 - 令和8年2月19日（木）まで
 - 申込み者数：1,436名
5. 参加費 1,500円
6. 内容
 - 開会の挨拶 門脇 孝（日本医療安全調査機構 理事長）
 - 座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）
宮田哲郎（日本医療安全調査機構 常務理事）
 - 【シンポジウム】
 - 第1部 「医療事故調査報告」の類似事例の分析から再発防止策策定へ
木村壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）
 - 第2部
 - 講演1：薬剤によるアナフィラキシーへの対応
～提言書を活用した院内教育による緊急対応～
虎の門病院 医療安全部 部長 中島 勸
 - 講演2：単科医療機関での頸部手術後の呼吸管理 ～気道閉塞評価と気道確保～
慶友整形外科病院 医療安全推進室 室長 前川 明日香
 - 講演3：「医療事故の再発防止に向けた提言」を現場で活かす
～気管切開チューブ逸脱・迷入防止に向けたICUの取り組み～
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター ICU 主任 本田 舞子
 - 講演4：医療事故調査制度に望むこと 再発防止への思い
医療過誤原告の会 会長 宮脇 正和
 - 第3部 全体討論
「医療事故の再発防止に向けた提言」を現場でどのように活用するか
 - 閉会の挨拶 田原克志（日本医療安全調査機構 専務理事）